

夢洲第2期区域記念公園ゾーンの事業構想及び基本計画策定等業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

夢洲第2期区域記念公園ゾーンの事業構想及び基本計画策定等業務委託
契約期間 契約日から令和9年9月30日まで

2 選定した優先交渉権者

電通・電通ライブ・日建設計共同企業体

3 公募期間

令和8年7月21日から令和8年8月24日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

委員氏名	役職等
石川 勝	株式会社シンク・コミュニケーションズ 代表取締役
加我 宏之	大阪公立大学大学院 農学研究科 教授
岸本 嘉彦	大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授

(2) プレゼンテーション審査 選定会議の開催日

令和8年9月7日

(3) 選定基準

評価項目		評価内容	配点
A 業務実施体制	実施体制	・業務実施体制について、具体的かつ明確なものとなっているか。	5点
	業務実績	・類似又は同様の業務に関する豊富な受注実績や優秀な業務実績等を有しているか。	5点
B 業務実施計画		・本業務全体の実施方針や実施手順（スケジュール）に妥当性、実現可能性はあるか。 ・PFIなどの官民連携手法を含めた事業実施手法の調査、課題整理について、妥当な実施計画となっているか。	10点

C 技術提案	記念公園ゾーンの事業構想の概要の提案	・夢洲第2期区域マスタープラン Ver. 3.0 や大阪・関西万博宣言、2025 年日本国際博覧会 成果検証委員会 報告書などとの整合性が図られており、万博レガシーの象徴である大屋根リングや記念館を含む記念公園ゾーンが、夢洲の「場の記憶」の継承・展開につながり、かつ実現性が高い提案となっているか。	30 点
	記念館における展示・交流スペースに関する概要の提案	・展示・交流スペースにかかる調査・検討について、万博のレガシーを効果的に発信・展開するための適切な提案となっているか。 ・展示スペースについて、万博の記憶や万博で披露された最先端技術の情報発信につながるものであり、継続的に集客力が見込める提案となっているか。 ・交流スペースについて、ビジネス交流や文化交流、学びの場等の創出につながるものであり、継続的に集客力が見込める提案となっているか。	20 点
	記念館建築基本計画の概要の提案	・記念館の構成区分や配置、空間の使用方法が来場者にとって機能的、合理的な提案となっているか。また、ユニバーサルデザインや防災対応等の観点も踏まえた提案となっているか。 ・記念館の意匠（外観）の考え方やコンセプトが、記念公園ゾーンの空間デザインと一体感のある提案となっているか。	10 点
	公園整備基本計画の概要の提案	・記念公園として魅力的なデザインとなっているか。 ・園地内の機能、ゾーニングが来場者にとって機能的な提案となっているか。	10 点
	記念公園ゾーン行・催事基本計画の概要の提案	・記念公園ゾーンにおいて、ビジネスや文化等の交流の場を創出し、地方創生や産業振興に繋がる提案となっているか。 ・事業構想のコンセプトを踏まえた具体的なイベント・催事計画となっているか。 ・運営にあたっての課題が的確に把握できており、実現性、持続性のある提案となっているか。	10 点
	合計（委員 1 名あたり）		100 点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

電通・電通ライブ・日建設計共同企業体

TOPPAN株式会社

夢洲万博レガシー継承・未来創生共同企業体 全3者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

評価項目		A者	B者	C者
業務実施体制	実施体制	13 点	15 点	12 点
	業務実績	15 点	15 点	13 点
業務実施計画		24 点	26 点	23 点
技術提案	記念公園ゾーンの事業構想の概要の提案	73 点	72 点	65 点
	記念館における展示・交流スペースに関する概要の提案	47 点	49 点	42 点
	記念館建築基本計画の概要の提案	23 点	27 点	19 点
	公園整備基本計画の概要の提案	27 点	27 点	20 点
	記念公園ゾーン行・催事基本計画の概要の提案	23 点	24 点	21 点
合計（300 点）		245 点	255 点	215 点